

# 支援プログラム

特定非営利活動法人こつみ 児童発達支援事業所 まめの木 作成日2025年2月11日  
児童発達支援



法人理念「お子様・家族に寄り添い、皆の心を大切に育て重ねて、社会に笑顔の花を咲かせよう」  
支援方針 お子様の個性を大切にしながら、個々に合わせた対応を心掛け  
発育・発達ができるようにご家族の皆さまと一緒に成長を支えていきます

営業時間 月曜日～金曜日 9時～17時  
土曜日 9時30分～15時30分  
(事業所カレンダーによる)  
送迎 有

※ 個別支援計画(5領域)に沿った支援計画の設定をしています ※



## 健康・生活

- ・子どもの発達に合わせてトイレトレーニング、衣服の着脱、支度などが身に着くようにします
- ・生活の流れが分かり行動できる力や生活リズムの形成の支援をします
- ・楽しい食事を通していろいろな食材を食べられるようにします
- ・スプーンを使う事から始め箸の正しい持ち方ができるようにします

## 本人支援



## 運動・感覚

- ・発達の基礎となる身体機能を適切な身体活動で伸ばします  
全身運動・散歩、かけっこ、サーキットなど  
指先運動・はさみ、のりはり、ビーズ通しなど
- ・気持ちやテンションのコントロールができるようにバランス感覚、距離感などの感覚の成長を促します
- ・講師によるリトミックを月2回行います

## 認知・行動

- ・物の名前、大きい小さい、昨日今日などの理解ができる力を伸ばします
- ・着席する、相手を見る、少し嫌なことにも取り組んでみる、など課題に向かう力がつくように支援します
- ・特性から生じる行動には、環境や対応の方法を工夫して支援します

## 言語・コミュニケーション

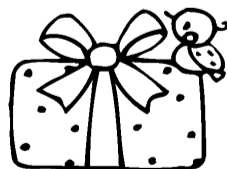
- ・話す、聞く、真似をする、観察するなどの力を伸ばします
- ・言葉だけでなく身振りや絵カードで表せるように子どもに合わせて支援します
- ・周りの大人や友達に聞いてもらいたい、話したいと思えるような対応をして、発語や言葉を伸ばします
- ・なぜ? どうして? と感じる心や助けて欲しい気持ちを言葉にしていけるように支援します
- ・絵本の読み聞かせを通して言葉の響きを感じることを大事にします

## 人間関係・社会性

- ・順番、交代、指示を聞いて行動するなど集団のルールを少人数で過ごす中で知らせていきます
- ・大人との温かな関わりの中でやり取りの楽しさを感じ、友達との遊びにつなげていきます
- ・急なスケジュールの変更や新しい事にすぐになじめない時などは、子どものペースに合わせた対応をします

## 家族支援

面談を6ヶ月に1回行いその際に相談があれば応じ、サポートをします。  
面談日だけでなく相談には随時応じます。  
親子の集いを年間数回行います。



## 移行支援

地域社会とのつながりを大切に活動します。  
ボランティアの絵本の読み聞かせを月1~2回行います。  
地域の図書館や公民館、児童館の利用、社会福祉協議会とのつながりを持ちます。

## 地域支援・地域連携

他機関と連携を図り支援に役立てるように努めます。  
相談支援事業所と連絡をとります。ご要望や状況に合わせて連携を図ります。

## 職員の質の向上

職員会議、ケース会議は毎月行います。研修会には積極的に参加し支援の向上に努めます。  
職員のチームワークを大切にして意見の言える職場環境を目指します。

行事・利用者、ご家族を対象にした夏祭り、親子の集いなど 利用者対象の季節の行事・たなばた・ハロウィン・クリスマス・節分など  
工場などの社会見学を行います。